

実施日：平成29年 5月31日 7月5日 10月31日 12月13日 1月12日	
領域：教科（生活）	
取組名：「赤ちゃん先生プロジェクト」	
対象：2年生	実施場所：体育館、2年生教室
<p>ア ねらい</p> <p>赤ちゃんと接したり、赤ちゃんの様子を見聞きしたり、ゲストティーチャーの話を聞いたりする中で、自分の成長を感じるとともに、自他の命の大切さに気づき、家族への感謝の気持ちや自尊感情を育てる。</p>	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんとふれ合い、手足の大きさを比べたり、生まれた時のことを聞いたりする。 「赤ちゃん先生プロジェクト」で感じたことを話し合う。 ママ講師やゲストティーチャーから、命の奇跡やどういう思いで育てられているかを聞き、自己肯定感を高める。 家の人にインタビューしたり、今の自分と赤ちゃんを比べたりすることによって、自分の成長したことを調べ、家族への感謝の気持ちを伝える。 	
ウ 連携先：家庭・地域 NPO法人ママの働き方応援隊	
<p>エ 連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 「NPO法人ママの働き方応援隊」との連携は、2年目になる。昨年度は1回の体験だったが、今年度は5回行うことで、学習内容や体験からの学び、共感的理解を深める。 体験活動の様子を学校便りや学年・学級通信を使って地域や家庭に発信する。 家の人やこれまでお世話になった人に、自分の成長についてインタビューする。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に「NPO法人ママの働き方応援隊」の方と打ち合わせを行い、安全面で配慮や注意すべきことの確認や、指導内容の確認などを行う。 	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む態度 感想 家族への感謝の手紙 	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に赤ちゃんとふれ合う中で、言葉や資料だけでは伝えられない「いのち」の素晴らしさや大切さを感じることができた。 その体験が、自分の成長を調べてまとめていく中で、家族の身近な人々が自分のことを大切に守り育てられているという自己肯定感や自尊感情につながった。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 計5回という体験は、教育課程上、生活科に位置づけて行い、他の単元の時間数を考慮する必要があるが、なかなかできない体験であるため、できる限り次の2年生へ引きついでいきたい。また、体験だけで終わることなく、今回のように意見交流の授業を行いより深く感じたり、考えたりすることが今後も必要である。 今回の活動で終わらせず、日常の生活場面など学びを生かして、自分も相手も大切にするような指導を心がける。 	